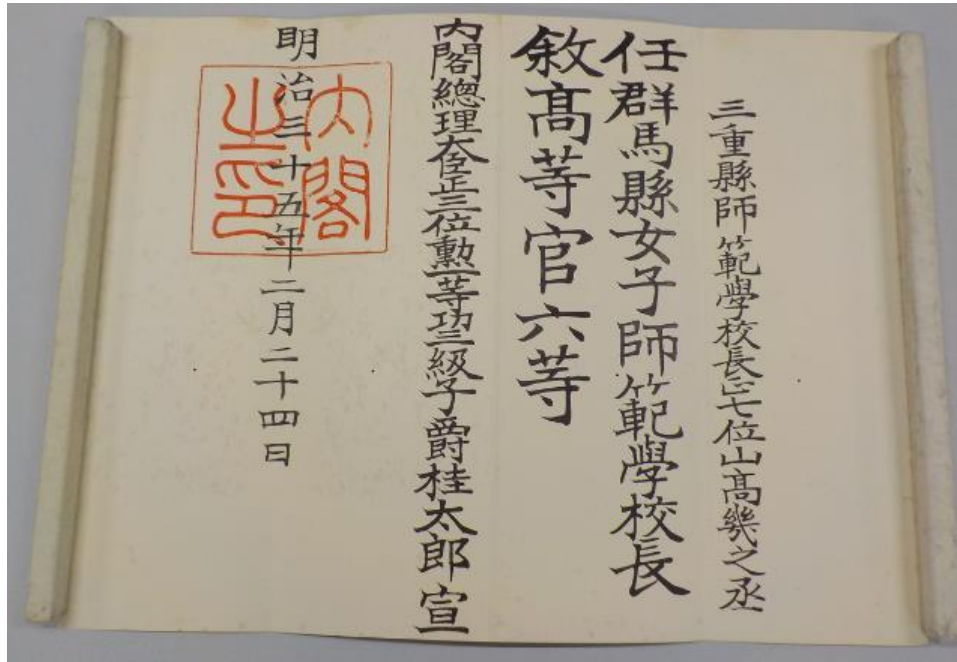


	表題等	年代	作成者→宛先	形態・数量	文書番号等
6	〔辞令〕	明治35 (1902)年	内閣総理大臣 桂太郎 → 山高幾之丞	1通	山高関係 2-94
	初代の群馬県女子師範学校(群馬大学教育学部の前身)の校長に任命された幾之丞の辞令です。				



山高幾之丞は元治元（1864）年、紀伊国和歌山（現和歌山市）に生まれ、東京師範学校で学び、三重県師範学校に勤めていました。校長の職にあった明治35(1902)年、群馬県女子師範学校初代校長に任命されました（満38歳）。

群馬県女子師範学校は、現在の群馬大学教育学部の前身の1つです。現在の前橋市にありました。

この辞令には、内閣の大きな朱印が押されています。当時の総理大臣は桂太郎（1848～1913）です。桂は日露戦争時（1904～1905）の内閣総理大臣で、彼の在職期間は最近まで憲政史上最長でした。